

# 福島正美ニュースレター

立川市議会議員 福島正美  
TEL/FAX 042-522-9971



## 新緑鮮やかに芽吹く季節

桜の開花も終え、葉桜の美しさとともに吹く風も暖かく感じられる季節となりました。日頃皆様には大変お世話になっております。新年度がスタートし新社会人の皆様をはじめ新しい環境での仕事を始められた方も多いかと思います。一日も早く仕事に慣れ、自らの持つ力を存分に発揮していただくようお願いしております。これからも皆様の地域の課題の解決に全力を尽くして参ります。



## 3月定例議会報告

平成28年第1回定例会が開催されました。平成28年度立川市一般会計予算は過去最大の734億円となり、予算特別委員会で審査の後、認定され議決されました。教育委員会制度改革による新たな責任者である新教育長が任命された他中学校の完全給食に向けた新学校給食共同調理場の建設計画や立川駅南北公共喫煙所の廃止等が報告されました。本会議では市長の新年度の予算説明の後、公明党を代表し、下記の通りの代表質問を行ないました。



- 清水市長3期目の市政運営充実に向けての予算編成に当たり視点を置いた点は何か
- 地方法人税の一部国税化における市財政への影響とその対応策は
- 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての事前キャンプの誘致策について
- 子育て・保育の総合ワンストップ相談窓口の開設を
- ひとり親家庭の支援が行き届かない方々への働きかけの強化を
- 児童養護施設退所者への自立支援と「社会的養護」の必要性について
- 地域包括ケアを進めるに当たり地域資源（人材）をどう掘り起こしていくのか
- 障がい者の一般就労に向けての体制づくりはどの位進んでいるのか
- ごみを生まないライフサイクル推進のため新たな分別とリサイクルの促進策を
- 立川駅南北公共喫煙所の廃止に伴う一層のマナーアップと分煙対策について
- 空き家対策に市内民間不動産会社の情報網を活用すべきではないか

福島正美ホームページ <http://mf2933.sakura.ne.jp>

フェイスブック <https://www.facebook.com/masami.fukushima.75>

# 福島正美第一回定例会での代表質問（要旨）

公明党を代表し代表質問を行いました。質問内容は以下の通りです。

## ◆市長3期目の充実に向けての予算編成に当たり視点を置いた点は何か

【市長】市民生活に直結するものを中心に、公約や行政評価を反映させるとともに、議会や市民からの意見や提言を十分に用いて編成した。

## ◆地方法人税の一部国税化に伴う市財政への影響と対応策は

【答弁】平成30年以降は約22億円の大幅な減収となる。その代わりに地方消費税交付金は28億円の増収となるが、この分は社会保障に充当しなければならない。債務の抑制と基金確保に努めていく。



## ◆東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての事前キャンプの誘致策は

【答弁】東京都に施設の登録を行なった他、現在本市紹介のガイドブックを製作しており、連携し誘致に取り組む東京女子大学を通じて繋がりのある各国の競技団体にPRを行なう。

## ◆子育て・保育の総合ワンストップ相談窓口の開設を

【答弁】現在子ども家庭支援センターでの子ども総合相談事業にて助言をしたり、必要に応じて専門部署に繋げている。今後も相談のニーズにできる限り寄り添っていく。



## ◆ひとり親家庭の支援が行き届かない人たちへの働きかけの強化を

【答弁】児童扶養手当支給の際にひとり親家庭のしおりを手渡し、何か困り事があった時にはご相談いただけるよう促している。今後も丁寧に対応していく。

## ◆児童養護施設退所者への自立支援と「社会的養護」の必要性について

【質問】今年度から施設を退所（卒園）した若者に対し、就職した人には2年分の家賃、進学した人には家賃に加え月額5万円の生活費を貸し付けるとともに、5年間就業を続ければ返還も免除するという国の制度が創設された。これを機に市も施設退所者への独自のアフターケア支援を行なうべきではないか。

【答弁】退所後、市内に居住する方を対象に、本人と児童養護施設と行政が連携しながら公的支援に繋げる仕組みについて考えたい。



## ◆障がい者の一般就労に向けての体制づくりはどのくらい進んでいるのか

【答弁】立川管内の障がい者雇用率と就業者数は1.89%で1,700人。市委託の障がい者就労支援事業では登録利用者数177名に対し一般就労をした方は152名である。自立支援協議会を中心にハローワーク、商工会議所、特別支援学校、就労継続支援事業所等のネットワークの充実をさらに図っていく。

## ◆空き家対策に市内民間不動産会社の情報網の活用を

【答弁】民間企業が持つ情報やノウハウは、空き家の実態把握や利活用について有効活用できると認識している。既存の行政の枠組みに因わず検討していく。



# 公明党時局講演会

## を開催！



去る4月10日（日）、たましんRISURUホールにて、公明党立川総支部主催による「公明党時局講演会」を開催しました。7月の参議院選挙に向けて、公明党東京選挙区公認の竹谷とし子参議院議員、同じく比例区公認の長沢ひろあき参議院議員による国政報告を行いました。保守層の皆様をはじめ地域でご活躍の沢山の皆様にご参加をいただきました。来賓として清水庄平立川市長、佐藤浩二立川商工会議所会頭にもご挨拶をいただきました。冒頭には私からも挨拶を致しました。公明党はこれからも市民に最も寄り添う大衆政党として、「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」という立党の精神を常に堅持をしながら、日本の柱となるべく一生懸命働いて参ります。



皆様の声で実現しました!!

## 南口駅デッキ下公衆トイレの 全面改装が決定しました！



立川駅南口デッキ下トイレの全面リニューアルが決定しました。南口デッキ(エキュート)下の公衆トイレは、これまで悪臭や衛生面の問題で、多くの苦情を駅周辺の事業者や付近を通行する市民の皆様から聞いていました。昨年の12月議会の一般質問でこの問題を取り上げ、「抜本的な全面リニューアルを行って、南口のイメージアップを！」と訴えました。その結果市は新年度3,000万円の予算をかけて全面改装することを決定しました。女性がゆっくりと身だしなみを整えられるパウダールームの他、木目調の外装と赤ちゃんの授乳スペースも装備される予定です。

## 錦町2丁目クランベーカーリー前交差点の 東西の歩行者信号が設置されました！



錦町2丁目クランベーカーリー前交差点に念願の東西の歩行者信号が設置されました。何年も前から錦町地域の懸案として話題になっていました。お店をはじめ通行が多い箇所、南北の歩行者信号はありましたが、行き来が多い東西の信号がないため、特に子どもたちの目の前で平気で渡る大人が多いとの苦情がありました。一昨年より、立川署交通課に直談判での直接交渉をしておりましたが、危険性が検証され、1年前に設置が決定し、地域の皆様にもお伝えしておりました。これで一定の地域の安全が確保されました。



# 平和安全法制について



平和安全法制が施行されました。今回の法制はいざという時に国民を守れるようにした法案です。一部マスコミがこの法案について批判を繰り返していますが、いざという時に国民を守れるようにするというのが真の平和を目指す公明党の考え方です。2度と戦争の惨禍を繰り返さないために憲法ができ、それ以来当初は自衛隊さえも否定されていましたが、その後東西冷戦の時代を迎え自衛隊が結成され、今では専守防衛については国民の誰もが認めています。現在では日本を取り巻く周辺の国際情勢や安保環境も変わってきています。そのような中これまでも憲法9条の下で国として自衛の措置がどこまで許されるかということがずっと議論されてきました。そして今回日米安保協力体制の中で日本が直接攻撃されていなくても日本を守る米国が攻撃を受け、それによって日本が直接攻撃を受けているのと同様の国民の生命・幸福の権利が根底から覆されるような明白な危険があるという事態になった時に初めて必要最小限度の武力行使が許されるという条項が加わりました。これは「新3要件」として公明党が内閣と熟議した中で導き出し明文化した重要な歯止めになっています。この法案により一部の人が考えているような他国を攻撃できるような集団的自衛権の行使は出来なくなりました。日本の安全を守るために日米同盟の維持を選択するのであれば、今回の平和安全法制により、安全保障能力を高めることが大前提であり、そうでなければ日本独自での非武装中立を図るしかなく、その過大な負担に今の日本が耐えられるわけはありません。この法案に反対する人たちは、では一体日本の平和を守るために何をすれば良いと思っているのでしょうか？どうやって日本の平和を守ろうと考えているのでしょうか？この法案成立によりすき間が多かった日米防衛協力体制が穴埋めされ、信頼と実効性が発揮できるようになりました。従ってこの平和安全法案は戦争法案どころか戦争を未然に防ぎ、日本防衛の抑止力を高める為の「戦争防止法案」です。



## 公明党 参議院議員選挙の公認を決定

# 竹谷とし子

東京選挙区



**弱い立場の人に寄り添う、会計のプロ！**

公認会計士。党女性委員会副委員長  
1969年、北海道生まれ。創価大学卒。  
2010年参院選で初当選。財務大臣政務官。

比例区

# 長沢ひろあき



**庶民を代表し国会論戦の先頭に立つ！**

党中央幹事。党参議院副幹事長。  
1958年東京都生まれ。東洋大学卒。  
公明新聞記者。2003年衆院選で初当選。



### 市民相談いつでも お気軽にご相談下さい 福島正美まで

電話: 042-522-9971  
携帯: 090-6545-2425  
E-Mail: mf2933@yahoo.co.jp  
URL: <http://mf2933.sakura.ne.jp>



発行：福島正美後援会